

さくらまつりの開催中止について

新型コロナウイルス感染がほぼ全世界に広まっています。政府からの要請もあり、国内での感染拡大防止という観点から、4月5日(日)開催予定のさくらまつりを中止することになりましたのでお知らせします。

宇仁幼児園写真展開催

昭和27年に田谷町の公会堂から始まった宇仁幼児園、色々と変革がありました。とうとう3月24日閉園になりました。その67年間の思い出の写真展をふれあい館で開催しました。

幼児園の先生方が手を尽くして集められた写真が、何十枚とふれあい館の中で競い合って並んでいました。初代の荒田園長先生が懐かしく、また、白黒写真からカラー写真へ、木造の旧園舎から今の園舎へと時代の流れを感じ、そして父兄や祖父母参加の運動会、お母さんたちと一緒に思い出のバス旅行、すまし顔の卒業写真などが並んでいました。その中から「あーっこれは主人だ」「これは娘」「これは俺」「これは隣の子」と思い出をひも解かれて、写真たちも誇らしげにしているようでした。

宇仁幼児園ありがとう。さようなら！

(ふれあい交流広場)



砂止め作業とクリーンキャンペーンの取り組みについて (青野町)



町内年間行事として3月に実施している「砂止め」作業、7月に実施している「クリーンキャンペーン」を、住民の農村環境維持向上意識をさらに高めるため、合同で3月1日(日)に開催しました。

参加人数目標を118人と定め、砂止め作業は1人/戸の参加目標で隣保ごとに作業内容を振り分け、クリーンキャンペーンはシニアクラブ10人・女性会10人・子供会20人の3団体それぞれの参加目標を割り当て、町内の実施エリアを決めました。当日の天気が心配されましたが雨は前日には上がり、当日は集合場所の丸山公園グラウンドが少しぬかるんだ程度で済みました。

朝9時に集合し区長から行事趣旨説明の後、小学生がリーダーになって全員でラジオ体操を実施、体をほぐしてから作業にあたりました。

これまでは両作業とも作業開始場所に隣保ごとに集まり、ミーティングをしてから作業に取り掛かっていましたが、町全体で集合し作業をスタートすることで一体感の醸成が図れたと思います。

何よりも子供会は20人の目標に対し35人も結集し、明るく楽しく率先して作業にあたってくれました。若い人たちの活躍は今後の町の運営という点からも楽しみです。

(参加人数は、隣保75人、シニア13人、女性会7人、子供会35人 計130人。集めたごみは砂止め作業のあと自宅周辺の側溝の掃除を終えた町役員で分別し処理しました。)

(青野町役員 菅田晃三)

宇仁幼稚園で読み聞かせ 16年

青野町の繁田由見子さんと岡田寿美さんは、宇仁幼稚園の年長さんに毎月1回絵本の読み聞かせを16年間続けてきてくださいました。子ども達も毎月待ち遠しく、首を長くして待っていました。来られる前になると先生と一緒に行儀よく座っています。そして話が始めると身を乗り出して聞きました。楽しい楽しい時間でした。「繁田さん、岡田さんありがとう(^_^)」
(宇仁幼稚園)



消火訓練を実施しました (鍛冶屋町)



3月1日(日)午前9時より、鍛冶屋町農業倉庫前広場において、北はりま消防署職員指導のもと消火器の使用説明および消火訓練を実施しました。訓練を通じて女性の方、高齢者の方、高齢の一人暮らしの方の防火意識の高揚および消化技術の向上を図りました。

当日は、消防団、町役員、女性会、老人会などから25人の参加がありました。各家庭に置いてある消火器のうち期限が切れているものを持ち寄っていたき、その消火器を使用して実際に火を消してもらいました。

初めて消火器を使用する(あってはならないのですが)人がほとんどで、消火器を持っては「重たい」とか「ピンが硬い」と言いながら火を消していました。消火器本体が意外と重いこと、またピンが硬く抜きにくいこと、消火剤の炎にあたる位置によってはなかなか消火できない場合があること、消火剤が結構長い時間噴射することなどが分かりました。これらは体験してみないと分からないことばかりでした。使用した消火器は早急に詰め替えていただき、持ち主に返却してもらいます。

き、持ち主に返却してもらいます。

今回の訓練は町内の人にとって、とても有意義な訓練となりましたし、数年に一度は実施する必要があると思いました。
(鍛冶屋町区長 松本 力)

宇仁郷歴史資料館だより 宇仁郷の歴史 (最終回)

編集後記-2

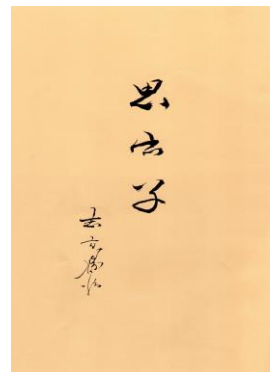
先人達が営々と築いてきたふるさとを紹介しようとした動機は、地域の方々に「宇仁郷の歴史」を再認識していただくとともに、若い人たちにふるさとのルーツを知ってもらい大きく羽ばたいていただきたいとの願いにありました。これら「宇仁郷の歴史」の仔細は平成 27 年 10 月 26 日に開館した宇仁郷歴史資料館(当時館長吉田義尊)に展示されています。

平成 31 年 4 月 7 日には、郷土史研究家吉田省三翁の親族から蔵書約 6,500 冊と古文書の寄贈を受け、「吉田省三記念文庫」が地元関係者の尽力により併設されました。これにより、世界史・日本史と兵庫県・北播磨の歴史書はほぼ揃い、貴重な古文書も収蔵されています。是非ご覧いただきたいと思えます。

資料館の開設に当たり、加西市教育委員会の萩原康仁、関山麻衣子、郡山志保様には資料館の構想段階から勉強会を開いて歴史観と展示知識の付与をしていただき、展示資料の作成、内山翁碑の解説文等にも尽力していただきました。厚く感謝申し上げます。

最後に、文面の流れ、意味不明、違和感等も随所にあつたと思えますがご容赦下さい。読者の皆さんには、長きにわたり「宇仁郷の歴史」にお付き合いをしていただきありがとうございました。

- ・資料提供 加西市教育委員会 埋蔵文化財整理室
- ・引用文献 加西郡史 加西市史 近世宇仁郷資料(吉田省三著)
思出草(志方勝次著) 宇仁郷の学校問題(吉田省三著)
ウィキペディア辞典 新聞記事等
- ・執筆 丸岡 肇 編集 繁田利成



思出草 志方勝次著 表紙

開館日 毎日曜日9時30分~12時